

令和5年 畑作・野菜病害虫発生情報 第1号

作物名：小麦（4月中旬）

1. うどんこ病（発生量：やや多い）

津軽地域の発生地点率は平年より高く、発病葉率及び病斑面積率はともに平年と同様に低かった。

県南地域の発生地点率は平年より高く、発病葉率及び病斑面積率は平年よりやや低かった。

巡回調査におけるうどんこ病の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率(%)				発生地点率(%)	発病葉率(%)	病斑面積率(%)
				甚	多	中	少			
4月中旬	津軽	本年	15	0	0	0	26.7	26.7	0.3	0.0
		前年	24	0	0	0	0	0	0	0
		平年	26	0	0.4	1.8	8.4	10.6	0.5	0.1
	県南	本年	5	0	0	0	80.0	80.0	2.0	0.0
		前年	9	0	0	11.1	33.3	44.4	7.6	0.3
		平年	11	0	0	1.1	33.3	34.5	3.1	0.1

注) 上位2葉調査。

発生程度別基準：「ネバリゴシ」甚=病斑面積率6.7%以上、多=同2.7~6.6%、中=同1.0~2.6%、少=同1%未満
「キタカミコムギ」・「ゆきちから」甚=病斑面積率17%以上、多=同9~16%、中=同5~8%、少=同4%以下

2. 赤さび病（発生量：一）

津軽地域、県南地域ともに、発生は認められなかった。

巡回調査における赤さび病の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率(%)				発生地点率(%)	発病葉率(%)	病斑面積率(%)
				甚	多	中	少			
4月中旬	津軽	本年	15	0	0	0	0	0	0	0
		前年	24	0	0	0	0	0	0	0
		平年	26	0	0	0	0.4	0.4	0.0	0.0
	県南	本年	5	0	0	0	0	0	0	0
		前年	9	0	0	0	0	0	0	0
		平年	11	0	0	0	0	0	0	0

注) 上位2葉調査。

発生程度別基準：甚 病斑面積率81%以上、多 同51~80%、中 同31~50%、少 同30%以下。

<参考>

病虫害名：雪腐病（発生量：やや少ない）

3月下旬の巡回調査では、津軽地域の発生地点率は平年よりやや高く、発病株率及び発病度は平年よりやや低かった。また、県南地域の発生地点率、発病株率及び発病度は平年より低かった。

発生種は、県内全域で雪腐褐色小粒菌核病が主体であり、津軽地域の一部では紅色雪腐病が認められた。

本年の根雪期間は、農林総合研究所（黒石）が106日で平年より9日長く、野菜研究所（六戸）が66日で平年より10日短かった。

巡回調査における雪腐病の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率(%)				発生地点率(%)	発病株率(%)	発病度
				甚	多	中	少			
3月下旬	津軽	本年	15	0	0	6.7	66.7	73.3	19.1	4.9
		前年	26	0	0	3.8	26.9	30.8	6.2	2.2
		平年	27	0	0.6	10.1	54.6	65.2	21.9	6.5
	県南	本年	5	0	0	0	20.0	20.0	2.5	0.6
		前年	14	0	0	0	50.0	50.0	22.1	5.6
		平年	12	0	1.3	4.8	48.3	54.3	14.9	4.6

注) 発病程度：甚=発病度71以上、多=同41～70、中=同21～40、少=同1～20

根雪期間

地点名	年次	初日	終日	根雪期間	地点名	年次	初日	終日	根雪期間
黒石 (農林総研)	本年	12/1	3/16	106日	六戸 (野菜研)	本年	1/2	3/8	66日
	前年	12/18	3/26	99日		前年	12/18	3/13	86日
	平年	12/14	3/21	97日		平年	12/26	3/11	76日
五所川原 (アメダス)	本年	12/14	3/11	88日	十和田 (アメダス)	本年	1/15	3/1	46日
	前年	12/18	3/25	98日		前年	12/18	3/3	76日
	平年	12/12	3/12	91日		平年	12/23	3/8	76日

注) 平年値は黒石が平成18年～令和4年の17か年、六戸が平成3年度～令和2年度の30か年、五所川原及び十和田が過去10か年の平均値。

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病虫害防除所 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 担当：技師 佐藤香緒里